

健康保険 被保険者 配偶者 出産育児一時金請求書の書き方

届書コード 3 2 1	届書	健康保険 被保険者 配偶者 出産育児一時金請求書																	
被保険者証の記号・番号										④ 生 年 月 日		⑤ 被扶養者 番号		⑥ 給付記録 番号		⑦ 受取代理人		⑧ 受付年月日	
① ② ③										④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		⑦ 0:無 1:有		送 信					
⑨ 被保険者 (請求者) の氏名と印										⑦ 名 称		⑧ 所在地		⑨ 事業所の		⑩ 郵便番号		⑪ 住所コード	
⑩ 被保険者 (請求者) の住所										⑪ 住所コード		⑫ 出生年月日		⑬ 出生年月日		⑭ 出生年月日			
配偶者が分べんしたための請求であるときは、その方の										⑮ 氏 名		⑯ 生年月日		⑰ 昭和 年 月 日		⑱ 平成 年 月 日			
⑲ 分べんした年月日										⑳ 平成 年 月 日		㉑ 出生年月日		㉒ 出生年月日		㉓ 出生年月日			
㉔ 入院して分べんしたその病院										㉕ 氏 名		㉖ 所在地		㉗ 出生年月日		㉘ 出生年月日			
㉙ 出生児の氏 名										㉚ 被保険者と出生児の続柄		㉛ 出生児が被保険者の被扶養者であるかどうか		㉜ 出生児が被保険者の被扶養者でないときはその理由		㉝ 調整減額コード			
㉞ 法第99条の7被保険者として支給を受けた場合はその額 (調整減額)										㉟ 海 外 表 示		㊱ 特別支給コード		㊲ 備考		㊳ 調整減額コード			
㊴ 資格喪失後、家族の被扶養者となったときは、その被保険者証の										㊵ 保険者名・		㊶ 保険者名・		㊷ 記号番号		㊸ 記号番号			
㊹ 被扶養者が被保険者であった場合には、その当時の被保険者証の										㊺ 記号及び番号		㊻ 出生年月日		㊼ 出生年月日		㊽ 出生年月日			
㊾ 分べんした年月日										㊿ 平成 年 月 日		㊱ 出生年月日		㊲ 出生年月日		㊳ 出生年月日			
㊴ 出生児の氏 名										㊵ 出生年月日		㊶ 出生年月日		㊷ 出生年月日		㊸ 出生年月日			
㊹ 上記のとおり相違ないことを証明する。										㊺ 平成 年 月 日		㊻ 出生年月日		㊼ 出生年月日		㊽ 出生年月日			
医療施設の名称・所在地										㊾ 医師・助産婦名		㊿ 電話 (局)		㊱ 番		㊲ 番			
㊳ 本 籍										㊴ 筆頭者氏名		㊵ 出生年月日		㊶ 出生年月日		㊷ 出生年月日			
㊸ 出生年月日										㊹ 平成 年 月 日		㊺ 出生年月日		㊻ 出生年月日		㊼ 出生年月日			
㊽ 上記のとおり相違ないことを証明する。										㊾ 平成 年 月 日		㊿ 出生年月日		㊱ 出生年月日		㊲ 出生年月日			
㊳ 区市町村長名										㊴ 電話 (局)		㊵ 番		㊶ 番		㊷ 番			
㊸ 支払区分										㊹ 預金種別		㊺ 銀行金庫農協		㊻ 本店支店		㊼ 口座名義			
㊵ 金融機関コード										㊶ 口座番号		㊷ 口座名義		㊸ 郵便局		㊹ 郵便局			
㊺ 本請求に基づく給付金に関する受領を代理人に委任します。										㊻ 平成 年 月 日		㊼ 平成 年 月 日		㊽ 平成 年 月 日		㊾ 平成 年 月 日			
㊿ 被保険者 (請求者) の住所										㊱ 氏 名		㊲ 氏 名		㊳ 氏 名		㊴ 氏 名			
㊵ 代理人の氏名と印										㊶ 氏 名		㊷ 氏 名		㊸ 氏 名		㊹ 氏 名			
㊺ 代理人の住所										㊻ 郵便番号		㊼ 住所コード		㊽ 住所コード		㊾ 住所コード			
㊿ 住所コード										㊱ 住所コード		㊲ 住所コード		㊳ 住所コード		㊴ 住所コード			

- (1) ①欄
 - ・政府管掌健康保険（社会保険事務所または社会保険事務局事務所でやっている健康保険）に加入している場合
「健康保険被保険者証」の記号（たとえば「京いろに」などの「いろに」の部分）および「番号」を記入する。
 - ・組管掌健康保険（健康保険組合が行っている健康保険）に加入している場合
社会保険事務所または社会保険事務局事務所で設定している「厚生年金保険事業所整理記号」（たとえば「港年KAC」などの「KAC」の部分および「整理番号」）を記入。これらは、健康保険の被保険者証にも記入する。
- (2) 標題の「被保険者」と「配偶者」の別および④の年号、㊦、㊧および㊨の欄は、それぞれ該当する文字を○で囲む。
- (3) 生産または早産の場合は、○に「該当せず」と記入する。
- (4) 入院しないで分べんした場合は、④と㊨の欄に「該当せず」と記入する。
- (5) 女子被保険者が分べんしたための請求である場合は、㊩および㊪欄に「該当せず」と記入する。
- (6) ㊫の被保険者の印は、被保険者が自ら署名する場合には不要。ただし、㊬（または㊭）、㊯および㊰の欄の印は、はっきりと押印する。また、訂正箇所には各記入者と同じ印を押す。
- (7) ㊱欄の「死産」の文字が○で囲まれている場合は、妊娠何ヶ月目の死産であるかを、かつこ内に書きいれてもらう。
- (8) 医師・助産婦又は区市町村長が証明するところ（㊲または㊳の欄）は、どちらか一方で証明を受ける。
- (9) 証明書等が外国語で記入されている場合は、翻訳者の住所・氏名を明記した翻訳文を添付する。
- (10) 給付金の受領を他人に委任する場合は、受取代理人の欄に必要な事項を記入し、支払金融機関の欄に受取代理人名義の口座を記入する。
- (11) ※印の欄は記入しない。